



熱い戦い、 スノーバトル

(2月10日)

第10回秋田県小学生雪合戦大会(スノーバトル2008 in 大館樹海ドーム)が、大館樹海ドームを会場に開かれました。参加チームは、市内外から14チームが参加。ハチ公が縁で交流のある渋谷区からも参加があり、熱戦が繰り広げられました。

各チームは戦略を練り、壁を使って相手の攻撃を避けながらすきを突いて攻め上げるなど、白熱したゲームを展開。応援する家族や友人から大きな声援を受けていました。

大館アメッコ市 (2月9日・10日)

400年以上の歴史を誇る冬の風物詩「大館アメッコ市」が開かれました。2日間とも好天に恵まれ、主会場の大町中央通りでは、大勢のお客さんが色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を通って風邪封じのアメを買い求めていました。

からみアメサービス



「福は内、 福は内」

福は内」

(2月3日)

節分の3日、市内各地で豆まきが行われました。八幡神社では、氏子らで組織する大館八幡会(金澤宏会長)主催で毎年行っていて、今年で34回目。かみしも姿で集まった八幡幼稚園の園児や地域住民らに向け「福は内、福は内」と威勢良く豆をまきました。

神事で鬼を追い払った福豆であることから、八幡神社では「鬼は外」の掛け声が無く、「福は内」だけ。次々と放り投げられる豆を園児らは手作りのお面を付け、夢中で拾い、両手いっぱい縁起の良い豆を持って喜んでいました。



雪中田植えが行われました

(2月11日)

比内町中野の高齢者センターで地域に伝わる小正月行事「雪中田植え」が行われました。

最初に雪中田植えの説明があり、菅笠(すげがさ)に「みの」を着用した立石一さんと阿部調一郎さんが、しめ縄を張った雪の田んぼに稲わらと豆殻を植え、豊作を祈りました。センター内では民芸品、手芸品、写真などの展示や地元愛好者の民謡なども披露され、交流を深めました。